

< NPO法人等の非農家等との連携を目標としている事例（協定の統合含む） >

## 7 集落共同による農地保全と農作業の効率化への挑戦

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県岩国市錦町宇佐			
協定面積 24ha	田 (97%) 水稻	畑 (3%) 野菜	草地	採草放牧地
交付金額 487万円	個人配分			40%
	共同取組活動分 (60%)	マスタープランの奨励像を実現するための活動		21%
		鳥獣害防止、水路農道等の維持管理のための活動		22%
		集落協定に基づく農用地の維持のための活動		14%
	集落の各担当者の活動のための経費		3%	
協定参加者	農業者 33人			

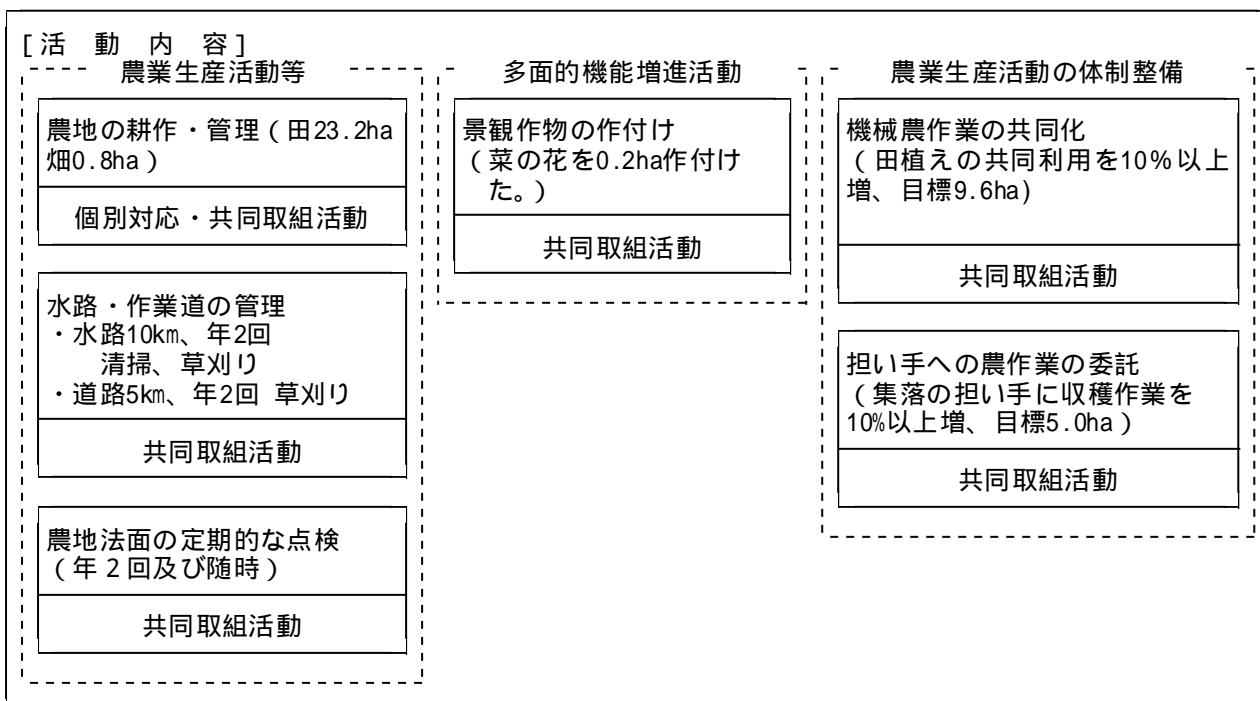
### 2. 集落マスタープランの概要

集落における将来像

- ・集落を基礎とした営農組織を構築し、担い手を中心とした農業生産活動の体制を整備する。
- ・景観作物の作付けされた美しい集落。
- ・集落の話し合いにより、協同・協力・合意に基づく活動が行われる集落。

5年間の目標

- ・7集落共同利用の田植機で協定農用地の植え付けをする。  
当初 4.8ha 目標 9.6ha (新たに10%以上増)
- ・担い手への農作業の委託により、協定農用地の刈り取りを行う。  
当初 1.0ha 目標 5.0ha (新たに10%以上増)
- ・草刈り、維持管理田に景観作物の菜の花、コスモスを作付ける。



### 3. 取組の経緯及び内容

- ・岩国市錦町宇佐地区では、前期対策においては7つの集落で6つの小規模な集落協定が締結されていた。
- ・本対策の推進にあたり、集落内の高齢化や担い手不足が深刻化していることから、より広域な規模の集落協定の締結によって担い手を確保し、集落を越えた地区全体で農地の保全と地区の活性化を図ることを目的として集落協定の統合を試み、大きな1つの集落協定として発足した。
- ・集落協定では、平成18年度中に、協定参加者の有志により「宇佐農作物受託組織」を設立するとともに、協定参加者全員が委託者となる「農作業委託組合」も併せて設立し、「やまぐち型担い手組織」の認定を目指している。

#### 農用地保全マップ



#### 【保全マップの解説】

協定参加者の活動が具体化するように活動項目を記入。

- ・防護柵を設置する箇所
- ・景観作物作付け箇所
- ・共同利用機械（田植え）の範囲
- ・農作業委託（刈り取り）等  
（左図面は、協定範囲の一部抜粋）



集落代表者による話し合いの様子



農道・水路の共同管理作業の様子

#### [平成21年度までの取組目標]

集落での機械の共同利用による営農の効率化・低コスト化  
 (当初4.8ha、目標9.6ha(協定農用地面積の10%以上増))  
 担い手への利用集積  
 (当初1.0ha、目標5.0ha(協定農用地面積の10%以上増))  
 鳥獣害対策を実施する